



令和6年度 公開園指導案



公開園【橘幼稚園】



○ごっこ遊び（ままごと・お店さん・病院）
身の回りのことへの興味関心が深まり、日常の生活の中で、見たり聞いたりしたことを行動に移し、いつも自分がしてもらうことを人形や友達に模倣やつむり遊びとして、再現をして楽しむ姿が多く見られる。人形に優しく布団をかけたり、どんどんとして、寝かしつけをしている。



棚をカウンターに見立て野菜やコップなどを並べお金を渡したつもりになつて、それそれが店員とお客様になりきっている。

病院をイメージする姿もあり、「たいじょうぶですか」とお医者さんと患者になりきり遊びをしている。

○絵本
一人でめくつてみたり、保育者に読んでもらうことを楽しんでいる。

繰り返しのある絵本や興味のある乗り物の絵本を喜び、覚えて言つたり、繰り返し楽しんでいる。

○手指を使った遊び（パズル、ブロック、型はめ）
つまむ、型を合わせる、落とす、など手を協応させ、集中して繰り返し楽しんでいる。

＜ねらい＞

○歩く、上る、下りる、またがるなどを体を動かす楽しさを味わう。
○保育者や友達と一緒に、ままごとこっこやお店さんごっこ、病院ごっこをする。
・じっくり絵本を見たり、保育者と一緒に見たりする。

＜内容＞
・すべり台、押し車等の体を使つた遊びをする。
・保育者や友達と一緒に、ままごとこっこやお店さんごっこ、病院ごっこをする。
・じっくり絵本を見たり、保育者と一緒に見たりする。



| | | |
|-------|-------------------------|--------------|
| 【日 時】 | 令和 6年 10月 31 日 (木曜日) | 9時30分～10時30分 |
| 【対象児】 | 0歳児 ひよこ 組 (男児 3名) | |
| | 1歳児 あひる 組 (男児 5名 女児 4名) | |
| 【担任名】 | 八木 智子 | |
| 補助教諭 | 瀧瀬 季子 | 青木 理緒 |
| 看護師 | 立花 優実 | 稻原 沙紀 |

＜子どもの姿＞

○衣服の着脱は靴下を履いたり、ズボンを脱いだりなど自分なりにやりやすい方法を探り、意欲的に取り組む姿がある。難しいと感じたり、早く遊びに向かいたい気持ちから、保育者の援助を求める姿もあり、その場合は保育者と一緒に行つている。0歳児は1歳児の姿を見て着替えの際に自分でズボンを脱ぎ、服から手を出す姿も見られる。

○排泄面では、保育者に誘われたり、友達の姿を見てトイレに座つてみると姿があり、タイミングが合ふと排泄できることがある。オムツに排泄すると「出た」と知らせる姿も見られる。

○食事では手つかみやスプーンでこぼしながら自分食べようとし、好きな物を「おかわり」など言葉や仕草で伝える姿も見られる。食事前の手洗いや食後の挨拶、手拭きで口元や手を拭くなど、毎日の繰り返しの中で仕方が分かり、自分でしようとする姿も見られる。

＜巻きの特徴＞

○歩行が安定し、小走りをしたり、その場で回りバランスをとりながら動くことを楽しんでいる。遊具にも積極的に挑戦している。指先の機能も発達し、つまり、はがす、パズルを合わせるなどの微細な動きも生活や遊びの中で行つている。

○保育者に信頼感を持って過ごし、周りを楽しんだり、甘えを見せたりしている。自分の思いを伝えたいたい気持ちは見られ、指差しや身振り、片言、二語文で表現し、保育者に伝えようとしている。

○生活や遊びの中で存分に自己主張し、思うようにならないと泣いたり怒ったりしている。友達との関わりの中でも友達と同じことをしたい、同じものを使いたいという気持ちから、使っている物を取られそうになつたり、友達が使っているものを欲しくて取ろうとしたりして「〇〇（自分）の！」と自分の思いを強く主張し、手荒になる姿もある。

＜遊びの特徴＞

○運動遊び（よじ登る、滑る、潜る、乗り物にまたがり蹴つて進んだり、押して進む、小走りする）
歩行が安定することで全身を使った様々な動きを楽しみ、室内の運動コーナーで挑戦しようとする姿が見られる。保育者や友達と一緒に遊びが様子も見られ「先生」と呼んで遊具に勝つたり、友達と同じ動きをして、微笑んだり、笑い合つたりしている。

＜内容選択の理由＞

- ・一人一人の子どもが自分の好きな場所やおもちゃ、遊び、その時にやりたいこと、思ったことや興味を引かれたことを十分に楽しんで自分を表し、満足感や充実感を味わつてほしい。
- ・保育者との愛着を基盤に自ら好きな遊びを選び、物の特徴を知つたり、遊び中の面白さや不思議さ、心地よさを味わつてほしい。
- ・好きな遊びをする中で保育者や友達に自分の気持ちを表し、気持ちが通う嬉しさや喜びを感じさせてほしい。

| | | | | |
|------|--|---|---|--|
| | | | <p>「のねずみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一回読んでほしいと伝える。 ・言葉をかけて子どもの反応を見ながら読む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・もう一回読んでほしいと伝える。 ・言葉をかけて子どもの反応を見ながら読む。 |
| 9:30 | <p>・好きなおもちゃを選んで遊べるよう、コーナーの位置に配慮する。</p> <p>・すべり台</p> <p>・トンネル</p> <p>・押し車</p> <p>・型はめ</p> | <p>予想される子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園すると保育者にハイハイと手を振つて別れ、保育者の元に行き、安心して遊び始める。 <p>○体を動かす遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべり台に上ったり下りたりする。 <p>・すべり台のトンネルに入り、穴から顔を出したり、手を出したりしている。</p> <p>・押し車を押しながら歩いたり、走ったりしている。ブーブーやピーポー等の擬音も使う。</p> <p>○指先を握る遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃを手にとつてながめたり、型に合わせ入れようと指の動きを変化させている。 | <p>保育者の援助と配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目を見て笑顔で迎え、安心感を持てるようにする。 <p>・子どもの位置や動きを把握し、危険が無いように環境を整える。</p> <p>・のびのびと体を動かして十分に遊べるようにする。</p> <p>・おもちゃを集中している姿を応答しながら温かく見守る。</p> <p>・「入ったね」と共感、応答的に関わる。</p> | <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみを持つて関わっているか。 ・好きなおもちゃの場所に自ら行っているか。 ・子どもの動きを自らしているか。 ・保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいるか。 ・おもちゃを集中している姿を応答しながら温かく見守る。 ・自分の感じた思いを保育者に伝えようとしているか。 |
| | | <p>・フライパン</p> <p>・お皿</p> <p>・コップ</p> <p>・包丁</p> <p>・まな板</p> | <p>○ままごと遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お皿やコップに食べ物を入れ、保育者や友達に「どうぞ」と持つて来る。 ・食べ物をのせたお皿をテーブルに並べ食べる真似をする。 ・エプロンやおんぶ紐をつけてほしいと伝える。 ・友達と物や場所の取り合いでなり、自分の思いを主張し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが差し出すものを「ありがとうございます」と受け取り、「おいしいね」等と子どもに合わせて言葉をかけ、やりとりを楽しめようとする。 ・いざこざになつた時には、それそれぞれした思いを言葉にして、丁寧に接し、自分の思いを安心して表せるようになる。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|---|
| | | | <p>○シャボン玉遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉液 ・ストロー ・容器 | <ul style="list-style-type: none"> ・高く飛んでいく面白さを十分に味わい、興味関心が深まるように、保育者も子どもの喜びに共感する。 |
| | <p>「すりすり ももんちゃん」 「じゅう じゅうじゅう」 「だるまさんの」 「いっぴきの」</p> | <p>○絵本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本棚から好きな絵本を取り、めくつて絵を見たり「ワンワン」「キリン」と言つたり、保育者に向かって「ぱあ」「しー」と表情豊かに伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表情や言葉に「いぬさんだね」など共感し、保育者も表情豊かに関わる。 ・自ら好きな絵本を取り出し、めくつたり、保育者の元へ持つて行ったりして思ひを共有しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表情や言葉豊かに伝える。 ・表情や言葉で思ひを |



公開園【橘幼稚園】



○汽車遊び

- ・乗り物が好きな子が多い中、交代したり順番に乗車したりと、遊び続けたい気持ちに折り合いをつけて変われる時もあれば、自分の思いが強く泣いて我を通そうとする姿もある。
- ・線路に沿って汽車を走らせ、「速いぞ」等と言葉しながら楽しむ。

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

- クラスの約半数が日中パンツで過ごし、トイレへの抵抗感から、トイレへ誘つても行くことが難しい子もいる。
- (ボタンを外す、ズボンを履くなど)衣服の着脱の際、自分でできる事は自分で頑張っている子もいれば、難しい時や甘えたい時には保育者と一緒にする子もいる。
- 給食時、スプーンとフォークを使って食べるが、上手くつかめず手づかみ食べする子もいる。

<発達の特徴>

- 友達の真似をしたり、自分の考えを伝えたりして友達、保育者との関わりを楽しむ。
- 自分が芽生え、自分の思い通りにならないと怒ったり涙が出たりする。
- 言葉が出てきて自分の気持ちを保育者や友達に伝えようとする。

<遊びの特徴>

○粘土遊び

- ・ちぎる、くっつける、型にはめる等して感触、形の変化を楽しむ。
- ・丸める等自分の思い通りの形を作ることが難しい子もいるが、保育者に手伝ってもらいいながらイメージを膨らませ、集中して遊ぶ。

○おまごと

- ・作ったものを保育者に食べてもらい、やりとりを楽しむ。
- ・毛糸をラーメンにしたりドリンクカップにストローをさせて飲む素振りをしたりと素材からイメージして遊ぶことを楽しむ。
- ・以前は作った料理は保育者に食べてもらうという保育者との関わりが多くあつたが、今では保育者だけでなく友達にも料理をふるまる姿があり、少しずつ友達との関わりを楽しんでいる。



【日 時】 令和6年10月31日（木曜日）9時30分～10時30分
【対象児】 2歳児 なかよし組 21名（男児 12名 女児 9名）
【担任名】 なかよし組 紫 綾 あいら
補助教諭 井上愛美 今儀菜央
保育補助 豊崎優子

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

- クラスの約半数が日中パンツで過ごし、トイレへの抵抗感から、トイレへ誘つても行くことが難しい子もいる。
- (ボタンを外す、ズボンを履くなど)衣服の着脱の際、自分でできる事は自分で頑張っている子もいれば、難しい時や甘えたい時には保育者と一緒にする子もいる。
- 給食時、スプーンとフォークを使って食べるが、上手くつかめず手づかみ食べする子もいる。

<発達の特徴>

- 友達の真似をしたり、自分の考えを伝えたりして友達、保育者との関わりを楽しむ。
- 自分が芽生え、自分の思い通りにならないと怒ったり涙が出たりする。
- 言葉が出てきて自分の気持ちを保育者や友達に伝えようとする。

<遊びの特徴>

○粘土遊び

- ・ちぎる、くっつける、型にはめる等して感触、形の変化を楽しむ。
- ・丸める等自分の思い通りの形を作ることが難しい子もいるが、保育者に手伝ってもらいいながらイメージを膨らませ、集中して遊ぶ。

○おまごと

- ・作ったものを保育者に食べてもらい、やりとりを楽しむ。
- ・毛糸をラーメンにしたりドリンクカップにストローをさせて飲む素振りをしたりと素材からイメージして遊ぶことを楽しむ。
- ・以前は作った料理は保育者に食べてもらうという保育者との関わりが多くあつたが、今では保育者だけでなく友達にも料理をふるまる姿があり、少しずつ友達との関わりを楽しんでいる。



| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>を感じられないようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽車の順番待ちがまるで見通しがもてるよ | <p>・汽車の數に限りがある「貸して」「いいよ」</p> <p>・汽車のやり取りをしながら楽しむ。</p> <p>・汽車の順番待ちがまるで見通しがもてるよ</p> | <p>に気をつけながら見守る。</p> <p>・「貸して」「貸して」のやり取りが難しい子へは、もっと乗りたかった気持ちは共感し、次替わってもらえる目印を示して気持ちの整理がつくようになる。</p> | <p>にして楽しんでいるか。</p> <p>・作った物を何かに見立てたりして楽しんでいるか。</p> |
| | | | |

| 時間 | 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|------|---|--|---|--|
| 9:30 | <ul style="list-style-type: none"> ・おままごとのコーナーを整える。 ・取り出しがやすいように配置する。 | <p>○おままごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材を鍋に入れ火にかけたり、包丁で切ったりとイメージを膨らませて楽しんで遊ぶ。 ・「パーティeshow」と友達と言葉のやり取りをし、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・保育者に「どうぞ」「食べて！」と料理をふるまいい、やり取りを楽しむ姿がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者も遊びの中に入り、今作つているものを聞いてから、作り取りを楽しんでいるか。 ・言葉で自分の思いを伝えているか。 ・イメージを膨らませて楽しんで遊んでいるか。 ・おもちゃのトрабルになった時は双方の意見を聞き、子どもたちを受け止め仲立ちとなる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との言葉のやり取りを楽しんでいるか。 ・言葉で自分の思いを伝えているか。 ・イメージを膨らませて楽しんでいるか。 ・同士の気持ちを気持ちを共感する。 |
| | | <p>○絵本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ぶときに絵本の表紙が見えやすいようにしておく。 ・落ち置いてみることができるよう椅子などを探しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる雰囲気の中で、子どもたちに丁寧に応えていく。 ・保育者の膝に乗る等安心できる体勢で楽しむ子も多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる保育者と安心して楽しんでいるか。 ・「〇〇〇」と知っているものを言ったり、くり返しの言葉を楽しんだりしているか。 |
| | | <p>○汽車遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白テープで線路を作り出す時には線路の机を出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「カカンカンカン」「次は〇〇駅～」と汽車をイメージして楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇駅で～す」など自分なりにイメージしているか。 ・「はやいれ」等楽しさを感じる声掛けをするとともに安全面 |



公開園 【橘幼稚園】

| | | |
|-------|-------------------------|---------------|
| 【日 時】 | 令和6年10月31日(木曜日) | 9時30分～10時30分 |
| 【対象児】 | 3歳児 たんぽ組 17名 | (男児 9名 女児 8名) |
| 【担任名】 | ひまわり組 16名 (男児 7名 女児 9名) | |
| | たんぽ組 中口 里恵 | 保育補助 阿波 昌子 |
| | ひまわり組 吉崎 胡美 | 保育補助 滝江 純美 |
| | ひまわり組 吉崎 胡美 | 補助教諭 梅原 美智子 |
| | 岡田 友子 | |

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

- 生活の流れが分かるようになり、自分でボタンをはずし着替えを頑張る姿が見られる。
- 服の裏表のひっくり返しや、たたみ方などを保育者に教わらないが取組んでいる。
- 食事ではお箸を使える子と、食材に合わせてフォークやスプーンの使い分けがまだわからない子もいるが、こぼさないように食べようとする姿がある。
- 排泄は自分のタイミングで行けるようになつたが、まだ声かけの必要な子もいる。

<発達の特徴>

- 友達との関りも増え、会話を楽しんだり一緒に遊ぶことを楽しんでいる
- まだ自分中心な活動が見られる為、おもちゃの取り合になつたり「お友達が悪い」と責める姿も見られる。
- 音楽が流れると自然と体を動かしたり踊ったり、知っている曲を歌つたりと楽しい雰囲気作りが出来る。
- ごっこ遊びや見立て遊びを通じて、数人のグループで遊びことを楽しんでいる。



<遊びの特徴>

○ままごとコーナー

- 廊下に設置している台所やテーブルコーナーは、隣のクラスの友達とも行き来ができるで、新たに友達の幅も広がるきっかけとなっている。エプロンやコック帽を着用して料理人役になつたり、食べるお客様に'Connorは、
- なつたりとそれぞれに役割を決めて楽しむ姿が見られる。「ちょっと牛乳しかないんですけど…」「すみません。もう少し待ってくださいねー」など、身近な生活の中での会話が子ども同士のやり取りの中で行われ、その後になりきる事で満足感を感じている。



<運動遊び>

○運動遊び

- 様々なタイプの三輪車がある中、それぞれにお気に入りを選ぶところから始まり、友達を乗せて楽しむ子・一人で漕いでドライブする子・友達との競争を楽しむ子など、一緒の仲間がいることに共感しあつたり協力し合う姿が見られる。友達が後ろの席に友達を載せて重たく進まない様子があると、後方から押して動かしたり、運転手を交代するなど自分たちで考える様子がある。



◎新聞、広告遊び

指先を使って細かく丸める棒の作り方や、止めたい所を上手くセロハンテープで貼る工夫をしながら、自分たちの作りたいものを完成していく遊びに取り入れる姿がある。女の子達はオシャレに身にするのが好きで、新聞紙やリボンなどの素材を使って先生と一緒にドレス作りをしたり、野球好きな男の子はボールとバットに見立てて先生と友達も使用して、自分達で切ったり貼ったりと想像力を生かして作品作りを楽しんでいます。また、それを作ったものをお家に持つて帰つてパパやママに見せたい!という気持ちが見られ、作品が園と家庭とのかけはにもなっている。

<ねらい>

○遊びを通じて自分なりのイメージや表現で相手に伝え、一緒に共感したりやり取りを楽しむ。

○気の合う友達と追いかけっこしたり、交代に役割を決めたり、順番を意識したり簡単なルール遊びを楽しむ。

<内容>

○保育者と一緒に考えながら、作りたいものを完成したり、それを取り入れて遊ぶ。
○保育者と一緒に共感し、生活に取り入れる。

<内容選択の理由>

○ままごとコーナーで一緒に遊びたい子と遊び。
○秋の気候を肌で感じながら、空の雲の動きを見たり草花の名前を知つたりと季節の移り変わりを保育者と一緒に共感し、生活に取り入れる。

○外遊びでは、乾いた砂を入れて保育者の所に運んでくれる姿が見られる。園庭に落ちている赤い葉っぱや、サルスベリの花を斬りとして拾い集めてみたり、オシャレにアレンジする。「こんな葉っぱよく見つけたね!キレイな色だね!」など保育者との会話を楽しみ、次はこんな風にしてみよう!という意欲につながつてほしいと考え選択した。

○今、子ども達が注目して楽しんでいる事に目を向け、身近な素材を使って仮装してみたり、興味のある部分にアイデアを提供することで、日々の保育をおもしろく、自分たちで表現したり遊びにつながればと考え選択した。



| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| 時間 9:30 | (各部屋) (廊下) | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・着替えの際、難しくて困っている園児は援助しながら、自分で出来る方法を伝えている。 ・室内では、プロック遊びやまと遊びなど、昨日の続きを楽しんだり、新しく物作りを考えたり友達に見せたり、一緒にやる?と誘う姿が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに考へて挑戦したり行動しようとしている。 ・子ども達同士のやりとりが増えてきているか。 |
| ・のり ・飾り物 ・ハサミを使う時は保護者が見守る場所で使用する。 | 伝つてもらったりし、作りたい物を完成して遊びに取り入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものを作りたいかを共有し、お互いにアイデアを出しながら完成を楽しむに取りかかる。 ・使いたい素材や用具があれば、譲り合って素材選びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものを作りたいかを共有し、お互いにアイデアを出しながら完成を楽しむに取りかかる。 ・使いたい素材や用具があれば、譲り合って使っているか。 | |
| ○運動遊び (園庭) | ・外用の靴に履き替え、帽子を被って園庭へ遊びに行く動作も早くなり、自分の目的に向かって友達と一緒に走り、使いたい遊具の所まで喜んで行く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今自分が使いたかったものが使ったことで、他の子が使ってから頼んだり、見守るうどする姿を見守りながら、社会性を培う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・好きな場所や、使いたい物で十分に楽しむことができる。 ・友達と一緒に次は何をして遊ぼうか? ・砂場の子どもたちやが使いやすいように種類分けをしておく。大きな石や、ケガにつながる危険な物が落ちていないか常に確認しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外用の靴に履き替え、帽子を被って園庭へ遊びに行く動作も早くなり、自分の目的に向かって友達と一緒に走り、使いたい遊具の所まで喜んで行く。 ・年長・年中児が使っている物や場所、ブランコや雲梯など腕力で挑戦する所にいる順番待ちなどにも「いい?」「使ってもいい?」など自分が声をかけたり、保育者と一緒に伝えたりする。 ・できるようになつた鉄棒前回りや逆上がり、雲梯や上り棒を保育者や友達に見てもらつたり、応援してもらって自信につなげる。 |

| | | | | |
|------------------|---|--|---|---|
| 時間 9:30 | (各部屋) (廊下) | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・着替えた子から荷物の片付け、着替えを済ませて、それぞれ遊びたい場所を見つけて遊ぶ。 ・室内では、プロック遊びやまと遊びなど、昨日の続きを楽しんだり、新しく物作りを考えたり友達に見せたり、一緒にやる?と誘う姿が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに考へて挑戦したり行動しようとしている。 ・子ども達同士のやりとりが増えてきているか。 |
| ○まごとコーナー (廊下) | <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃやの食材 ・台所セット ・おもちゃの食材 ・テーブル ・イス ・エプロン ・コック帽 ・お皿、コップ、食材、道具など、片付けの仕分けができるようになつた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に遊びの中に加わり、言葉でのやり取りを楽しんでいる。 ・使いたいおもちゃの確認をしながら、入つてくる友達の役割分担をする子や、自分だけの世界で料理作りを楽しむ子など、いろんなやり取りをしながら、ままごと遊びを楽しむ。 ・お客様になつたり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いを感じましたね~」「色合いがステキです!」など、五感を通じて表現遊びに広がるよう言葉がけをする。 ・広告を細かく丸めた新聞紙をじやばら折りにしてリボンを作つたり、自分で出来る事を頑張つてみたりできる友達がいたら、一緒に手分けしてみる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役になりきり、葉でのやり取りを楽しむような関わりを持つ。 ・自分なりの表現で相手に気持ちを伝えているか。 ・お客様になつたり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いを感じましたね~」「色合いがステキです!」など、五感を通じて表現遊びに広がるよう言葉がけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の子が作っている作品に興味を持つたり、同じものを作りたいと声をかけたり、 |
| ○制作コーナー (室内) | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙 ・広告 ・折り紙 ・ハサミ ・セロテープ | <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく自分の手で作る作品をすすめ、難しい所やテーマを貼る際の手伝い頑張つてみたりできる友達がいたら、一緒に手 | <ul style="list-style-type: none"> ・広告を細かく丸めた新聞紙をじやばら折りにしてリボンを作つたり、自分で出来る事を頑張つてみたりできる友達がいたら、一緒に手 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の子が作っている作品に興味を持つたり、同じものを作りたいと声をかけたり、 |



公開園 【橘幼稚園】

【日 時】 令和6年10月31日(木曜日) 9時30分～10時30分

【対象児】 4歳児 すみれ組 19名(男児12名 女児7名)

ゆり組 18名(男児11名 女児7名)

【担任名】 すみれ組 森下 知美 大槻 智美

ゆり組 紅葉 敦 蘭田 絵夢

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

○自発的に身支度ができるようになり、一日の流れを感じながら生活できるようになる。

○子ども同士で声をかけあつたり助け合ながるようになる。

○運動会を経験して、友達同士の繋がりが強くなり、クラス・学年のまとまりが出てきている。

○日常の生活習慣を身に付け、自分で出来る事は自分でしようとするとする姿がある。

<発達の特徴>

○友達との結びつきが強まり自分なりにイメージを膨らませ友達と言葉で伝えあいながら遊びを楽しむ。

○「お寿司屋さんごっこ」「マクド屋さんごっこ」などの遊びで、気の合う友達と考えを出し合いながら遊びを作る。

○ゲームや集団遊びに喜んで参加し、楽しみながら友達との関係を深めている。

<遊びの特徴>

○ケーキ屋さんごっこ(園庭)

一学期から園庭では、泥団子づくりや、お皿やカップを使ってのご飯やケーキ作りを楽しんでいる。トッピングには、さら砂をかけてみる子どもや、近くに落ちていた落ち葉に気づき「この葉っぱハートの形してる!」「これも飾ろう!」と友達と思いを伝え合いながら遊びをしている。

○おうちごっこ

秋の遠足や、お散歩で拾ってきたドングリ・松ぼっくり・貝殻などを保育室前の廊下に種類別にコーナーを作ったことで、秋の自然物を使いおもちゃ作りを楽しんでいる。

○おうちごっこ

一年を通して、畠の部屋のスペースで、おうちごっこをする姿が多くみられ、おままごとセットでお料理をしたり、赤ちゃんのお友達にお料理を食べさせたりと、それぞれが役に切りきって遊びを楽しんでいる。夏休み前に全員が聴診器をもらつたことで、おうちごっこ遊びに病院ごっこ加わり、フライ返しで「口を開けて下さーい」と舌圧子に見立てたり、スプーンを注射器代わりにしたり、イメージして遊んでおり、他に向が必要か?と考え、ナースキャップや絆創膏などを一緒に準備していく事で、さらに遊びを楽しく進めている。

○お店屋さんごっこ

運動会の表現発表で、はっぴを着て“お寿司屋さん”になった事をきっかけに、切れ端の紙を利用して、お寿司作りを始める。



「もっとご飯がふわふわがいい」と、子どもたちの声から、手拭きペーパーをそっと出しておくと、それに気が付いて「これを丸めよう!」と試してみる姿があつた。以前は作つて持つて帰る事で遊びが完成していたので、お店屋さん用に机を出すと、お寿司を片付ける為に「冷蔵庫が必要だね」「レジもいるね」とイメージを膨らませて新たなものづくりを始める。「お金がいるね」と数字を書く事が得意な子がお金を作り出すと「私は数字はかけないからサーサービス券を作る!」と絵をかいたり、案内スターをかいだり張り出したりとそれぞれが得意な事で遊びに参加しながら楽しんでいる。

また、家庭から、マクドナルドの広告を持つてきた子どもがきっかけとなり、マクド屋さんごっこが始まり、「〇〇ちゃんはポテト作って」「僕は、ハンバーガー作るわ」と、自分たちで役割も決め、友達とイメージを共有しながら遊びを楽しんでいる。

<ねらい>

○友達を考えを出し合い、イメージを共有しながら遊びを発展させることの楽しさを味わう。

<内容>

○友達と思いやイメージを出し合ながら遊びこむことを楽しむ。

<内容>

○イメージしたものを工夫して作ったり、イメージを共有して遊びを楽しむ。

○ドングリや松ぼっくりなどの自然物を使っておもちゃ作りを楽しむ。

○友だちと一緒にイメージを出し合ながら、おうちごっこやお店屋さんごっこを楽しむ。

<内容選択の理由>

○今まで、イメージしたものを作ることに満足していた子ども達が、お店屋さんごっこ等を通して遊びがつながつていくようになってきた。又、遊びがつながつていくことで、それぞれが自分の得意な事、興味を持った部分に参加することができ、人との闇りが苦手な子も遊びを共有することができ、コミュニケーション能力が楽しく身につく様子がうかがえる。友達とイメージを共有したり、協力する中で遊びを進める楽しさを味わつてほしい。

○おもちゃ作りでは、できた時の嬉しさや、それを使って遊びを友達と共に楽しむ度やつてみようという意欲に繋がつてほしい。

| 時間 | 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|------|---|---|--|--|
| 9:30 | <p>・ケーキのトッピングに必要な自然物を用意しておく。</p> <p>（ドングリ　松ぼっくり　貝殻　など）</p> <p>・子どもが自分で遊びを展開しやすいよう、展示棚にコーナーごとに道具をそろえておく。</p> | <p>○ケーキ屋さんごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭に落ちている落ち葉や木の実に気づき、それらをトッピングに使って作る楽しさを味わっている。 ・水をくんでくる子やケーキの土台を作る子など、自分達で役割を決め、友達と協力しながら遊びを楽しんでいる。 <p>○おもちゃ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇君の作つてあるおもちゃ作つてみたい！」 ・友達の姿にも興味を持ち、おもちゃ作りを楽しんでいる。 ・作りたいたい物をうまく作ることができず困っている子に「こうするんやで」と教えてあげようとする姿がある。 <p>○お店屋さんごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこ興味を持つ子が取り組みやすいように、扱いやすい材料を用意し、満足いくまで商品づくりを楽しめるようになる。 ・段ボール、空き箱、新聞紙など | <p>・友達が参加した時、イメージの違いから遊びが中止することがある。保育者が中に入り、お互いの気持ちを開き、遊びのイマージュを近づけられるように援助する。</p> <p>・友達が中止したりしているか。</p> <p>・できだ時の嬉しさや、それを使って遊びを共感し、またやってみようとした気持ちになれるようになるように援助を行う。</p> <p>・友達の作っているおもちゃにも興味を持ち、自分から聞きつたり、良さを取り入れようとしているか。</p> <p>・保育者がお客様役になって店を盛り上げたりして、他の子が興味を持って遊びを楽しむようになります。</p> <p>・店員と客の役割分担を自分で相談しながら決め、遊びを進めている。</p> | <p>・自分なりのイメージをもつて、表現したことについて、友達が中止したりしているか。</p> <p>・友達に自分のイマージュを話しながら遊んでいるか。</p> <p>・様々な素材や特徴を生かし、試しながら自分のイメージしたものを作っているか。</p> <p>・友達の作っているおもちゃに興味を持ち、自分から聞きつたり、良さを取り入れようとしているか。</p> <p>・気の合う友達と一緒にして、他の子が興味を持って遊びを楽しむようになります。</p> <p>・友達の思いや表情に気づいたりしながら遊んでいるか。</p> |



公開園 【橘幼稚園】

たる製作遊びを繰り広げている。自分の興味のあるものを作ることで、イメージに合った素材を選び、自然物を組み合わせて楽しんでいる。保育中にとどまらず、家庭でも様々な製作遊びを楽しむ子どもが多く、作ってきた作品を大切に持ってきて見せてくれる子もあり、友達が作った作品を真似て作ろうとする姿や、作り方や工夫したことろを伝え合う姿がよく見られる。



○ごっこ遊び

ごっこ遊びが大好きで、毛糸やフェルトを使ってラーメン屋さんを楽しんだり、新聞でマクドナルドの帽子を作り始めた事から、エプロンを作ろうとしたり、ハンバーガーやボルテなど食べ物を作っていき、ごっこ遊びの準備から遊びまでを楽しんでいる。ひらがなを書いて看板作りをしたり文字への興味も高まっている。



○カブラン遊び

どうすれば崩れずに高く積めるか、スマーズに組み立てるのはどうすればいいかを考え、失敗したり再挑戦し、高く積むことを繰り返し楽しんでいる。迷路を作ったり、沢山並べてドミニノ倒しをしたり、色々な遊び方を楽しんでいる。

○運動遊び

得意、不得意、発達の差がある中でも、友達が頑張りできた時の喜びをそばで感じ共感しあったり、自分もできるようになりたいという強い気持ちは芽生え、自ら進んで何度も挑戦する姿がある。



<遊びの特徴>

○ドッヂボール

友達を誘い、ラインカーでコート作りをしたり、人数が均等になるようにチーム分けをしたりそれぞれが役割を持つて遊びを始めようとする。人数が集まらなかつた時にはキャッチボールや、おにごっこ遊びに切り替えるなど自分達で考えている。小さなお友達がコートに入ってきたら「危ないよ。」と声をかけ気をつけている。

○秋見つけ

かたつむりやカブトムシの幼虫など季節によつてさまざまな虫を家から持ってきて見せてくれる友達が数人いたことから、虫に 관심を持ち、捕まえた生き物をお世話したり、図鑑で調べたりする様子が見られる。カブラン遊びで虫の迷路を作り、虫の行動を観察する子どももいる。

幼稚園の園庭に様々な色や形の葉っぱがあつたり、常に四季折々の自然がある。砂遊びで、落ち葉や木の実などを使ってお料理を作ったり、様々な遊びに発展させている。

○製作遊び

一人ひとりが思いを膨らませ形に表現する中で、繰り返し試行錯誤しながら多岐にわ

【日 時】 令和6年10月31日（木曜日） 9時30分～10時30分
【対象児】 5歳児 ゆき組 17名（男児 8名 女児 9名）
【担任名】 柴田真希 川北りか 楊助教諭 鈴木礼芽

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

○生活に必要な習慣が身につき、一日の流れに見通しをもつてお互いに声を掛け合いながら生活をしている。
○友達同士で遊ぶ楽しさを感じ、共感しあったり助け合い、認め合う姿がある。
○運動会を通して仲間意識が高まり、自信もついてきて何事にも根気よく取り組む姿が見られる。

<発達の特徴>

○友達と共に目的をもつて遊ぶ姿や、相談して遊びを深めていく姿がある。
○繰り返し遊びを楽しむ中、聞いたり、真似たり、教えあつたり友達に 관심が高まる中、気づいたことや発見したことを伝え合う姿が見られる。
○遊びの中で特に思いがぶつかったり、すれ違うこともありますが、自分たちで解決しようとしたり友達が間に入ってくれることで相手を許そうとしたりするなどの姿がある。



<遊びの特徴>

○ドッヂボール

友達を誘い、ラインカーでコート作りをしたり、人数が均等になるようにチーム分けをしたりそれぞれが役割を持つて遊びを始めようとする。人数が集まらなかつた時にはキャッチボールや、おにごっこ遊びに切り替えるなど自分達で考えている。小さなお友達がコートに入ってきたら「危ないよ。」と声をかけ気をつけている。

○秋見つけ

かたつむりやカブトムシの幼虫など季節によつてさまざまな虫を家から持ってきて見せてくれる友達が数人いたことから、虫に 관심を持ち、捕まえた生き物をお世話をしたり、図鑑で調べたりする様子が見られる。カブラン遊びで虫の迷路を作り、虫の行動を観察する子どももいる。

幼稚園の園庭に様々な色や形の葉っぱがあつたり、常に四季折々の自然がある。砂遊びで、落ち葉や木の実などを使ってお料理を作ったり、様々な遊びに発展させている。

○製作遊び

一人ひとりが思いを膨らませ形に表現する中で、繰り返し試行錯誤しながら多岐にわ

たる製作遊びを繰り広げている。自分の興味のあるものを作るために、イメージに合った素材を選び、自然物を組み合わせて楽しんでいる。保育中にとどまらず、家庭でも様々な製作遊びを楽しむ子どもが多く、作ってきた作品を大切に持ってきて見せてくれる子もあり、友達が作った作品を真似て作ろうとする姿や、作り方や工夫したことろを伝え合う姿がよく見られる。

○カブラン遊び

どうすれば崩れずに高く積めるか、スマーズに組み立てるにはどうすればいいかを考え、失敗したり再挑戦し、高く積むことを繰り返し楽しんでいる。迷路を作ったり、沢山並べてドミニノ倒しをしたり、色々な遊び方を楽しんでいる。

○運動遊び

得意、不得意、発達の差がある中でも、友達が頑張りできた時の喜びをそばで感じ共感しあったり、自分もできるようになりたいという強い気持ちは芽生え、自ら進んで何度も挑戦する姿がある。

<内容選択の理由>

○日頃から友達と一緒に生活をする中で、お互いに思いを伝え合つたり、時にはケンカをする中でお互いの気持ちに気づいたり、自分たちで遊びを進めようとする姿が見られる。その姿を大切にしたい。
○友達の頑張りや成長、喜びに共感し、また友達から刺激を受け、自分も挑戦しようとする過程を大切にしたい。

| | | | | |
|------|------|------------|-----------|---|
| | | | | ・試行錯誤し 工夫する姿が見られるか。 |
| 9:30 | 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達が作っているものを見て「私も」と真似てさらに自分なりの工夫をしてみたりアレンジする姿も見られる。 ・友達に教えるようとしたり、意見を出し合って一緒に楽しむ。 ・出来上がった作品を保育者や友達に見せたり飾ろうとする。 |
| | | | ○ごっこ遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・友達に思いや考え方を伝え相談しながら作つたり楽しめているか。 ・友達を尊重し見守りながら作つたり楽しめているか。 ・アイデアを提案し、認め合っているか。 |
| | | | ○カブラー遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・室内でカブラー以外の遊びをしている子が近づいて楽しめているか。 ・友達と一緒に目標を達成するまで何度も挑戦する。 ・高く積む為、また、途中壊れることがあるが見られるか。 ・崩す時のドキドキと音を楽しみ、またもう一度やってみようとして試行錯誤する。 |

| 時間 | 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の観点 | 評価の観点 |
|------|---|---|---|---|
| 9:30 | ・好きなタイミングで遊びが始められるように、ラインカーなど用具を用意しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ドッヂボール <ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で誇い合つて遊びを始めたり、人數を調整しながらチームを分ける。 ・人数が集まるまでみんなで協力して声をかけるが、集まらなかつた時は鬼ごっこなどをして楽しむ姿が見られる。 ・小さい友達が近づいてきたら「あぶないよ」と声をかける姿が見られる。 ・虫かごを用意したり、見つけた自然物を入れるために牛乳パックなどを用意しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い、自分たちで考えて行動しようとする姿を見守り、必要に応じて話に加わり、友達との思ひをつなげていくか。 ・ルールの共有をしているか。 ・友達も一緒に楽しむ遊びの楽しさを共有する。 ・水分補給もしっかりと見守り、声かけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたことを伝えたり、友達の思ひを傾けているか。 ・友達と一緒に楽しむことを考えて、素材や道具を準備する。 |
| | | | ○秋みつけ | <ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化に気づいたり自然の不思議や面白さに気づいたり身近な自然を取り入れ、遊びに発展させようとしているか。 ・カブラーでの遊びや世界が広げられるように広い場所を確保していく。 ・カブラーを作る子のために跳び箱など安定感のある足場になるような台を準備しておく。 |



公開園 【橘幼稚園】

| | | | |
|---------------|---|---|--|
| | | 題を解決できるよう に問い合わせる。 | |
| ○運動遊び (鉄棒) | <ul style="list-style-type: none">鉄棒、マットなどの必要なものをよく目につく所に配置しておく。周りに危険な物がないか確認しておく。 | <ul style="list-style-type: none">逆上がり、連続逆上がり、空中逆上がりなど、それぞれの目標に向かって何度も繰り返し鉄棒にチャレンジする姿が見られる。自分達で考えて整列し順番を守ったり、ぶつからないようにする姿が見られる。友達から刺激をうけ「私もできるようになりたい。」と向上心が見られる。 | <ul style="list-style-type: none">個々の発達に応じて補助をする。頑張る過程をほめて認める。危険のないように見守る。 <ul style="list-style-type: none">正しく棒を握り自分なりに安全を考えて行動できているか。友達の頑張りを認めつつ挑戦する心が育っているか。 |
| (なわとび) | <ul style="list-style-type: none">床が濡れでいて滑つて転倒しないようにする。 | <ul style="list-style-type: none">繩が引つかかって止まる事がないように周囲に注意しながら目標に向かって縄跳びに楽しむ。また、引つかかってもあきらめず何度も繰り返し挑戦する姿が見られる。自分のことのように友達の頑張りを応援したり、数を数えてあげる友達同士の関わりも見られる。 | <ul style="list-style-type: none">必要に応じて数を数えたり、見守る。全体への目標にかかわらず個々の成長に応じて頑張りを認め、ほめる。 <ul style="list-style-type: none">目標をもつて頑張る中で持久力が育っているか。・なわとびにチャレンジ中の友達を応援したり危険のないように配慮して遊んでいるか。 |

公開園【タンポポこども園】

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日） 9時30分～10時40分
【対象児】 0歳児 うみ組（男児5名 女児3名） 1歳～1歳7か月
【担任名】 上村朋香 北川千尋 安瀬潤子

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞
○保育者に言葉をかけられながら、オムツを替えてもらいたい心地よく過ごしている。

○食事や補食を見ると嬉しそうな顔になる。手つかみで食べたり、保育者に食べさせてほしいと催促したりしてくる。

○保育者に言葉をかけられながら、オムツを替えてもらいたい心地よく過ごしている。

○保育者が食事の準備をし、誘いかけると「はーい」と元気よく手をあげ、自分から手洗い湯やテーブルに向かう姿が見られる。こぼしながらも手つかみやスプーンを使つて意欲的に食べたり、自分でコップを持つて飲んだりしている。

○オムツ交換の際には、保育者の言葉がけにより足をあげる、ズボンを上げ下ろすなど自ら身体を動かすうとする姿が見られる。
○戸外遊びに誘うと、保育者の元に帽子を取りに来たり、玄関で自分の靴を出し履こうとしたりする。
○歩行が安定してきた子ども行動範囲が広がり、安心して好きな遊びを楽しんだり、触れ合つて関わりを楽しんでいる。見慣れない人がいると、じっと顔を見たり相手にくつったりして人見知りも見られる。

○ハイハイや歩き、歩行などで行きたい場所へ移動している。

○話しかけたり、歌を歌つたりすると笑顔が見られる。

○歩行が安定してきた子ども行動範囲が広がり、好きな玩具や興味のある場所に向かう探索活動を楽しんでいる。
○一語文や単語、表情や身振りで自分の思いを保育者に伝えようとしている。また、保育者に絵本を読んでもらうことを好み、聞いた言葉を真似するようになってきた。

○動物や自然物、車などに興味を持ち、指差したり、触しようとしたりする姿が見られる。
○身体を使った遊び（斜面やマットの山を上り下りする、トンネル、段ボール車を引つ張るなど）
○歩行が安定した子は、ホールへ自ら行き階段や斜面を上り下りしたり、トンネルをくぐつたり、段ボールの車に乗つたり引つ張つたりして様々な動きを楽しんでいる。

・ハイハイ、歩き始めた子ども身体を動かして楽しめようになり、トンネルに入つて「いよいよばあ」と出できたり、斜面を登つたりしている。
・風船やボールを使って、追いかげたり投げたりして楽しんでいる。

○身近な人と関わる遊び（ままごと、絵本、触れ合い遊びなど）
・お皿とスプーンを持つてもぐもぐ食べる真似をしたり、コップを持つてお友だちと乾杯したりしている。
・水道で手を洗つたり、人形をトントンしたり、だっこするなど身近な体験を頗めとして楽しんでいる。
・かばんを持って「ハイハイ」とお出かけを楽しんでいる。

（絵本）

・好きな絵本を出してきて自分で見たり、保育者の元に「よんでー」と持つて来て一緒に見たりしながら指差し、言葉を真似したりしている。また、絵本に合わせて歌を歌つたり、お気に入りのフレーズを声に出したりして動きも覚えている。

（触れ合い遊び）

・保育者や友だちと物の陰に隠れて「いやないばあ」をしたり、「一本橋一ちよこちよ」など、手遊び、体験などで触れ合い遊びをしたりして楽しんでいる。



（身近な物と関わる遊び（指先を使つた遊び）

（指先を使つた遊び）
・ビジーボードで引っ張る、回す、鳴らすなど繰り返し遊んでいます。

・ほつとん落としては、様々な形、感触の物を穴に入れ楽しんでいます。

・穴に入るよう持ち方を変えたり、物の向きを変えたり、押し込んだり、ためしたりする姿が見られる。またいっぽいになると保育者の元へ持ってきて「あーkeyーて」と言う子もいる。

（手を出す遊び）

・ドングリやビーズの入ったペットボトルを、マラカスのように振り、音を楽しんでいる。
・ゴムで結ばれたペットボトルのキャップやビーズを指先でつまみ離した時の「カンカン」「ハチンツ」という音を繰り返し鳴らしている。

（感触遊び）

・センサリーマットを手や指先で触つたり足で踏んだりし、「ふわふわ」「いててて」などの言葉を発し感触を楽しんでいる。
・センサリーボールを振つたり軋がしがしたら、キャラクターアクションを眺め、不思議な液体を目遣つて楽しんでいる。



（くねらい）

○保育者と一緒に身体を動かす楽しさを味わう。
○安心して身近なものに興味・関心を持ち、音や色・感触を味わったり、探査活動を楽しんだりする。

（内容）

○マットの山、トンネル、ボール遊びなどの身体を使つた遊びを楽しむ。
○ぽつとん落とし、ビジーボード、積み木など、指先を使って遊ぶ。
○動物や車、歌の絵本などを保育者と一緒に楽しむ。

（内容選択の理由）

○保育者の安心できる関係性を基盤に、身の回りのものに興味、関心を持ち、自分の好きな遊びを楽しむ姿がある。様々なものに触れる中で、不思議さや面白さ、心地よさを感じてほしいと考えている。
○入れる、出す、引っ張る、投げるなどの探索活動を十分に楽しんでほしいと考えている。
○保育者と触れ合うことに心地よさを感じたり、だっこするなど身近な体験を模倣して楽しんでいる。



公開園【タンポポこども園】

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|---|--|---|
| ・お皿 | 予想される子どもの姿 (高月齢) ・保育者の様子 ・行こうとする。 【ホール】 様な動きが楽しめるよう 発達や興味に合わせて道具 を組み合わせる。 ・マットの山 ・トンネル ・段ボールの車 ・アクティブラーニング台 ・鉄棒など | 保育者の援助と配慮 ・月齢の低い子や少人数の方 が落ち着く子は、保育室で過ごすなど1人1人の様子を見て遊ぶ場所を変えるようにする。 ○身体を使った遊び ・斜面やマットの山を歩いたり這ったりしてやり下りする。 ・保育者が声かけすると楽しそうにハイハイしてトンネルをくぐってく る。 ・段ボールの車に乗った車に乗りつたり、友だちの乗った車を引っこみたりする。 ・1歳児クラスの友だちが雑巾にぶら下がる姿を見て、挑戦してみようとする。 | 評価の観点 ・コップ ・フライパン ・やかん ・スプーン ・コンロ ・シンク ・かごぼん | ・コップを並べて差しと乾杯したり、飲む真似をする。 ・シンクで手を洗う真似をする。 ・かがい掛からがはんを取り「ハイハイ！」とお出がけごっこする。 | 食べる真似をして「おいしいね！ちぞうさま。」と子どもとの姿に合わせて言葉かけける。 また、子ども同士の開けたり、「一緒に幹杯する？」など熱、かけ、やり取りが楽しめるようにする。 | ・友だちの動きに興味を持つて見たり笑ったりしているか。 |
| ・絵本 | ○絵本 ・絵本から好きな絵本を取り、保育者の元へ「よんでー」と持ってくる。 ・絵本 ・どうぶつの本 ・はたらくのりもの ・うた絵本など | 絵本を取り出しやすいように本棚に並べておく。 ・絵本などを真似して声に出したり、指名前などを真似して声に出したり、指差したり、「もう一回見たい」と言葉をかける。 | ・絵本 ・絵本から好きな絵本を取り、保育者の元へ「よんでー」と持ってくる。 ・絵本などを真似して声に出したり、指名前などを真似して声に出したり、指差したり、「もう一回見たい」と言葉をかける。 | ・絵本を取り出しやすいように本棚に並べておく。 ・絵本などを真似して声に出したり、指名前などを真似して声に出したり、指差したり、「もう一回見たい」と言葉をかける。 | ・絵本 ・絵本から好きな絵本を取り、保育者の元へ「よんでー」と持ってくる。 ・絵本などを真似して声に出したり、指名前などを真似して声に出したり、指差したり、「もう一回見たい」と言葉をかける。 | ・絵本 ・絵本から好きな絵本を取り、保育者の元へ「よんでー」と持ってくる。 ・絵本などを真似して声に出したり、指名前などを真似して声に出したり、指差したり、「もう一回見たい」と言葉をかける。 |
| ・手遊び歌 | ○触れ合い遊び ・ゴリラさんだれなど持ってきた写真を見て、子どもの反応を見ながら歌う。 ・ゴリラさん ・ミックスシュース ◎にらめっこ | ・保育者が口づきで歌を聞くと、身体を揺らしたり、動きを真似して歌う。 ・保育者と触れ合って遊ぶことを喜ぶ。 ・もう一回して欲しいことを身振りや声で伝えてくる。 | ・ゴリラさんだれなど持ってきた写真を見て、子どもの反応を見ながら歌う。 ・ゴリラさん ・ミックスシュース ◎にらめっこ | ・保育者が口づきで歌を聞くと、身体を揺らしたり、動きを真似して歌う。 ・保育者と触れ合って遊ぶことを喜ぶ。 ・もう一回して欲しいことを身振りや声で伝えてくる。 | ・保育者との触れ合いを喜び感じるうな顔をしたり、動きやフレーズを真似して歌う。 ・表情豊かに歌ったり、優しく歌したりして心地よさを感じられるようにする。 ・歌に合わせて身振り手振りをしたりして一緒に楽しむ。 | ・保育者との触れ合いを喜び感じるうな顔をしたり、動きやフレーズを真似して歌う。 ・表情豊かに歌ったり、優しく歌したりして心地よさを感じられるようにする。 ・歌に合わせて身振り手振りをしたりして一緒に楽しむ。 |
| ・センサーマット | ○感触遊び ・ふたを開けてほしい事を仕草や発音で伝える。 ・ぱっとん落とし ・箱詰み木 ・ビジャーボード | ・指先を伝へ遊び ・ふたを開けてほしい事を仕草や発音で伝える。 ・入れるものや穴に合わせて、向きを変えたり、入の方を変えるなど様々な方法を試しながら繰り返し遊ぶ。 ・箱詰み木を積んだり倒したりして遊ぶ。 ・ビジャーボードのところに行き、引つ張る、回す、鳴らすなど繰り返し触る。 | ・指先を伝へ遊び ・ふたを開けてほしい事を仕草や発音で伝える。 ・ふたを開けて欲しくて特につき時には、見本を見せ言葉にして伝える。 ・集中している時は傍は見守り、手を出さず、助けを求めるタイミングで手助けをする。 | ・指先を伝へ遊び ・ふたを開けてほしい事を仕草や発音で伝える。 ・ふたを開けて、向きを変えたり、入の方を変えるなど様々な方法を試しながら繰り返し遊ぶ。 ・足つまなど ◎センサーボトル | ・センサーマットの上を歩いたり、手のひらや指先で感触を楽しむ。 ・「ふわふわだね」「ひいてだね」「ぶにぶにだよ」など応答し感覚を言葉で伝える。 ・手作りおもちゃや黒板の危険がないよう、テーブや接着剤で液が漏れないようにする。 | ・様々な素材に興味を持ち、自ら触れて感触を楽しんでいるか、 ・おもしろさを感じたりして心地よさを感じられるようにする。 ・歌に合わせて身振り手振りをしたりして一緒に楽しむ。 |
| ・マラカス | ○音の出る遊び ・お皿とスプーンをもつて食べる真似をしたり、友だちや保育者に「あーん！」と食べさせようとしているか。 | ・音の出る玩具を手に持ち、音を鳴らすことなどを楽しむ。また、保育者が歌を歌うと、タイミングを真似して音を鳴らそうとする。 | ・音の鳴る玩具「シャカシャカ」を握り返し音を鳴らす。また、保育者も一緒に音を鳴らして楽しむ。 | ・音が鳴ると嬉しそうに繰り返し音を鳴らした。また、音に合わせて身体を動かしたりして楽しむ。 | ・音が鳴ると嬉しそうに繰り返し音を鳴らした。また、音に合わせて身体を動かしたりして楽しむ。 | |

| | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|------------------------|---|----------------|------------------------|
| 環境構成 | 予想される子どもの姿 (高月齢) ・保育者の様子 ・行こうとする。 【乳児クラス】 子どもの発達や興味に応じて環境を整え、好きな玩具を選んで遊ぶように、コーナーの位置や玩具の置く場所に配慮する。 | 保育者の援助と配慮 ・月齢の低い子や少人数の方 が落ち着く子は、保育室で過ごすなど1人1人の様子を見て遊ぶ場所を変えるようにする。 | 評価の観点 ・マット ・スпонジ ・保育剤 ・クリッショング ・芝生 ・足つま ◎センサーボトル | ・手遊び歌 ・1歳児クラスの友だちが雑巾にぶら下がる姿を見て、挑戦してみようとする。 | ・安心して遊べるように傍で一緒に遊び見守る。 | ・穴に入るよう、入れ物の向きを変えたり、力を入れたりしていろいろな感じ方をしているか。 | ・音が鳴ると、喜び共にする。 | ・音が鳴ると、嬉しそうに繰り返し音を鳴らす。 |
| ・ままごと | 生活で使っているものや親しみを持つフープを準備する。 | | | | | | | |
| ・お皿とスプーンをもつて食べる真似をしたり、友だちや保育者に「あーん！」と食べさせようとしているか。 | | | | | | | | |

【日時】 令和6年11月26日（火曜日） 9時30分～10時40分
【対象児】 1歳児 もも組（男児7名 女児7名）
【担任名】 山崎未羽 武藤明恵

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

○ズボン、靴の着脱など、簡単な身の回りのことをやろうとする姿が増えってきた。一人では難しい子もいるが、保育者に援助され出来る部分は一緒にやってみようとしている。
○排泄後、出たことを伝えられる子もいる。

○手づかみやスプーン、フォークを使い意欲的に食べる姿が見られる。苦手な食材もあるが、友だちの食べている姿を見たり、保育者の隠しの声掛けで食べられるものが増えてきた。
○大人の言葉を真似たり、知っている言葉で簡単なやりとりを楽しめるようになってきた。保育者に見守られながら、欲しいものがある時には「ちょうどいい」「ありがとうございます」とやりとりをする姿も見られる。

○自分が芽生え、したいこと、したくないことなど気持ちを伝えようとすると他の児童が通るまで泣き続けることもあるが、保育者に思いを受け止めてもらい、落ち着くことが出来る。

○友だちのやつていることに興味をもち、同じ遊びを楽しむ姿が見られるようになってきた。

＜遊びの特徴＞

○運動遊び

・保育者とのおいかつけやブランコ、すべり台など身体を動かす遊びが好きで、園庭の運動エリアで楽しむ子が多くいる。園庭より広いホールに環境を用意すると、走る、斜面の上り下り、ぐぐる、ジャンプや鉄棒のぶら下りなど全身を使った動きを楽しんでいる。トンネルをくぐった後に保育者を見つけ「せんせい、ばあ～」というやりとりも繰り返し楽しむ姿がある。

○ままごと遊び

・お皿や鍋に食べ物を入れ、机に並べたり、保育者に「せんせい、どうぞ」と渡す姿がある。「どうぞ」「ありがとうございます」と繰り返しの簡単なやりとりを遊びの中で楽しんでいる。
・人形を使った遊びでは、おんぶや抱っこをしたり、ミルクを飲ませたり、お世話遊びを楽しむ。高月齢児は「あかちゃん、ないてるの」「おなかすいたんだって」などごっこ遊びに繋がっている子もある。

○転がし遊び(ペットボトルスロー)

・転がる様子を観察しながら、繰り返しボールを転がす。遊び方も子どもによって様々で、手だけでなく、おたまなどの道具を使ったり、大きい入れ物にたくさんボールを入れ一気に転がして楽しむ姿もある。



○新聞紙ボールプール
・新聞紙を使った遊びでボールを作ったことをきっかけに、投げたり、転がしたりを思い切り楽しめるスペースとしてボールプールを作った。毎きな色のボールを集めたり、上部に設置したゴールにボールをいれて楽しむ姿もある。遊びスペースとしてだけではなく、寝転がってくつろいでいる子もいる。

○ブロック、積み木遊び

・ブロックを繋げて車を作り、「ブーパー」と言って走らせて遊んだり、大きいクラスの子を真似て、長く繋げ「パンパン」と言って楽しむ。作る過程で並べ方や積み方で友だちと一緒に遊ぶことで落ち着き、一緒に楽しむことができる。

・途中で倒れてしまうことがあるが、何度も積み木を積み上げ、集中して遊ぶ。

・箱ブロックを、横に並べて「おうちやよ」と家に見立てて楽しむ。作る過程で並べ方や積み方で友だちと一緒に遊ぶことができる。

○絵本

・絵本コーナーにある椅子に座って絵本を見たり、保育者のところに絵本を持ってきて「よんでも」と保育者と一緒に楽しむ姿がある。また同コーナーにあるクッションに寝転がり、くつろぐ姿も見られる。

＜おもい＞

○全身を使って、体を動かすこと楽しむ。

○保育者や友だちに開心を持ち、簡単なやりとりを楽しむ。

○自分の思いを表情、身振り、言葉で伝えようとする。

＜内容＞

○全身を使い、ホールで運動遊びを楽しむ。

○ごっこ遊びや絵本など遊びを通して、表情や身振りで思いを伝えようしたり、言葉で簡単なやりとりを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

○歩行も安定し、全身の筋肉が発達していく時期なので、遊びを通して楽しく体を動かさせる経験を積み重ねてほしいと考えている。また、できなかつたことができるようになった喜びを感じてほしい。

○友だちの存在を気にするような姿が増え、個々の遊びから、同じ空間で遊び姿が増えてきた。言語の発達も一語文から二語文へと成長する時期でもあるので、保育者も一緒に遊ぶ中で、遊びを通して開わりが増えたり、やりとりの楽しさを感じてほしいと考えている。





公開園【タンポポこども園】

| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|--|--|--|---|
| 【ホール】 ・マットの山 ・トンネル ・鉄棒 ・アクティブラーニング台 ・段ボールの車 | ・運動あそび ・マットの山にハイハイや保育者と一緒に体を動かすことを見学み、子どもたちが「やつぶこと」を楽しむ。 ・トンネルの反対側に保育者を見つけ、「せんせいおーい」と手を振って、「はーー」と顔を覗かせ保育者の反応を楽しむ。 ・友だちが鉄棒にぶら下がつて見るのを見て、同じようにやつてみようとする。「せんせいみて」と保育者に見せてほしいことを伝える。 ・足元を見ながら丁寧に安全に遊びが楽しめるよ。 | ・体を動かして遊ぶことを見学み、子どもたちが「やつぶこと」を楽しむ。 ・者との間わりを、思ひがある時は丁寧に受け止め、「はーー」と顔を覗かせ保育者に見せてほしいことを伝える。 ・一人で走る。一人で離れない子は、保育者と手を繋ぎやってみようとする。 ・段ボールの車に入り、保育者や友だちに引つばってもらうことを楽しむ。中に入つて寝転ぶことを楽しむ子もある。 | ○転がし遊びをする子を見守る。 ・転がる様子を見て見ながら、練り返し・繰り返しの遊びを十分に楽しめるよう、ボールを準備する。 ○新聞紙がールブルー ・お気に入りの色をを集めたり、上部に設置したゴールめがけてボールを投げて楽しむ。ボールが入ると、手ををして喜ぶ姿もある。 ・ボールブルーの中に寝転び、ゆっくり過ごす。 |
| 【足元が不安定になるので、足元面を考慮し、設置する。 | 足元が不安定になるので、足元面を考慮し、設置する。 | 選択して遊びを楽しめるよう玩具を利用し、落ち着いて遊べるスペースを作れる。 ・Bロック ・箱ブロック ・レゴブロック ・積み木 | ・車、家などその他の色をもいるもので、「あか」「あお」など色々な色と一緒に遊ぶ。おたま、カーブなどの道具を使い転がすもので、「あか」「あお」など色々な色と一緒に遊ぶ。楽しげな声を言いながら一緒に遊ぶ。楽しい気持ちを共感し、安心して遊びを楽しむようにする。 |

| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|---|---|--|--|
| 【一歳児 ももぐみ保育室】 見立て遊びが楽しめるよ うな玩具や人形を用意す る | ・お皿や鍋に食べ物を入れ、机に並べたり、保育者の所には「せんせいどうぞ」と持つて来たりする。「どうぞ」簡単なやりとりをする。・水道の所で手を洗う真似をしたり、スポンジを使ってお皿や食べ物を洗つたりする。 ・お皿・コップ・鍋 ・お盆・お盆・お盆 ・食べ物・レンジ ・人形・おんぶ紐・布 | ・ごはんを作ったり、作つたものを保育者に渡したり、見立てて遊びをする。 ・遊びの様子を見守り、「見て」のアピールをして来た時には、「きれいになつたね」などレンジから出した食べ物の所に見える姿もある。 ・人形を抱つこしたり、ミルクを飲ませる真似をして、お世話を飲んで見立てる。・見立て遊びを始めようには、子どもの言葉や行動に共感し、応答的に関わるようになる。 | ○絵本 ・絵本から好きな絵本を選び、楽しく見て楽しむ。・見たい本を保育者に「よんでもいいね」と持つて来て、一緒に絵本を楽しむ。 |

【日 時】 令和6年11月26日(火曜日) 9時30分～10時40分
【対象児】 2歳児 すみれ組 (男児4名 女児12名)
【担任名】 山本多美枝 竹原芽衣 杉田恵理

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>
○おはおまかなか漬けが分かるようになり、食事前には手洗いや消毒をしエプロンを付ける、外遊びの前に着替えて用意し、帽子をかぶる、片付けをしたらおやつの用意など見通しを持って生活している。
○トイレや替えの際は自分で衣服を脱ぎ、裏返ったズボンを直したり、難しい時は手伝ってもらったりしながら、自分でもしてみようとする姿がある。
○尿意を感じて自らトイレへ行く子、促されても座つてみんなで座つてみる子など個人差がある。
○食事面はメニューによって「ちょうどにする」など要求を伝え、量を調節してもらいたいながら楽しく食べている。白菜やブロッコリー、ラディッシュなど野菜の栽培をして成長を喜び、調理してもらい食べる姿が増えてみようとしている。

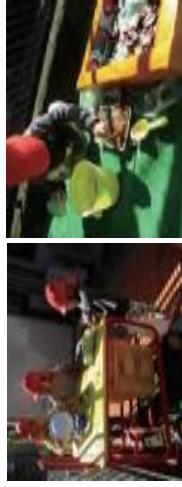
＜遊びの特徴＞

○気の合う友だちとごっこ遊びや見立て遊びを楽しみ、言葉でのやりとりも充実してきている。なかには「貸して」「いいよ」「あとで」など言葉で言えば取り合になることもあるが、保育者に仲立ちしてもらいい、自分で気持ちを伝えようとする姿も見られる。
○友だちの姿を見て「やってみたい」「同じの作りたい」と模倣や共有する楽しさを感じている。
○言葉が増える要求や感じたこと、経験したことなど自分なりの言葉で伝える姿が増えていている。

＜遊びの特徴＞

○ままごと・食べ物や食べ物に見立てた物をお皿や容器に入れ、保育者や友だちに、「どうぞ」とごそりしたり、赤ちゃんの人物に食べさせたりして楽しんでいる。
・エプロンを付けてお母さんになつたり、お店さんになりきってごちそうを作つたりして、楽しんでいる。
・毛糸をラーメンや焼きそばに見立てて食べる真似をしたり、色付きのキャップをトマトやブドウ、たまごに見立ててお弁当を作つたりピクニックや遠足など自分の経験したこと遊びに取り入れながら楽しんでいる。
・以前は玩具の食べ物を皿に盛るだけだったが、画用紙、お花紙、折り紙などを使い保育者に手伝つてもらいながら食物を作ることを楽しむ姿もある。
・以前は玩具を持つだけの子が多くたが、見立て遊びなど玩具を使って遊べるようになってきている。

○ままごと(人形やその他の)
・「赤ちゃんお腹すいたって」「うんち出たって」とご飯やミルクを食べさせてゲップをさせたり、お尻を拭いたりお風呂に入れるなどお世話をすることを楽しんでいる。
○お医者さんごっこ
・「どうしましたか」「お熱がありますね」と声をかけながら注射や検温をしたり、薬を塗ったりして、知っている言葉を用いてやりとりしながらきることを楽しんでいる。
・お腹が痛いで「お熱があるみたいですね」と患者になりきり、しんどそうにしたり寝転んで診察してもらうなどを経験をもとに再現しながら楽しんでいる。



○転がし遊び・砂遊び・自然物・虫探し
・どんぐりやまつぼっくり、葉っぱなどを雨どいやペットボトルのコースに転がし、転がる様子を目で追つたり速さの違い音を面白がったり、転がらない物もある事に気付き様々な素材を試している。

・転がりに水と一緒に流す、再度追加で転がして押し出すなど、自分たちなりに考えて試してみる姿もある。

・砂を容器に入れアイスやカッパーを用いて食べる真似をして、いらっしゃいませ」「アイスですかー」とお店さんになつてやりとりを楽しんでいる。

・自然物を使って飾り付けやお金に見立てたり、身近な物を遊びに取り入れて遊んでいる。

・自然物を肉や調味料に見立てたり、自然物+水や自然物+土など組み合わせて混ぜたり感触が変わることも楽しんでいる。

・葉っぱの影や芝生の裏など虫がいる所を探し、見つけたら保育者や友だちに知らせ、観察したり容器にいれたり大事にしている。

○お絵かき 物づくり

・好きな色のクレヨンで線や点を描くなどイメージしたものを作つたり大に描こうとする。
・ハンバーガーやアイス、スマホなど、手伝つてもらいながら用紙や折り紙を丸めたり、ちぎつたり、貼り合わせたりして作ることを楽しんでいる。

・紐に通せたことを喜んで見せたり、通せたもののが抜けてしまい悔しがつたり何度もやってみようとする。出来上がった物を引つ張って歩いたり、ネックレスやフレッシュにしたりとおしゃれを楽しんで、る。

＜ねらい＞

○保育者や友だちとやりとりを楽ししながら、ごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ。

○身近な物や自然に興味を持ち、見立て遊びを作つたりして楽しむ。

＜内容＞

○ごっこ遊び(ままごと・病院・お店・赤ちゃんのお世話をする)。

○自然物など様々な素材を揃つて、ごっこ遊びで転がし遊びをする。

○お絵かきや紙通し、物づくりなどを楽しむ。

＜選択遊びの理由＞

○ごっこ遊びが好きで経験したことを取り入れながら楽しむ姿があり、よりイメージしながら楽しんでほしいと考えている。
○様々な物や自然物に興味を持ち、拾つたり集めたりして遊びに取り入れる姿がある。自分なりの遊び方を見つけ、形や色、音や転がる速さなどいろいろと試して楽しんでほしいと考えている。

○様々な色が分かるようになりイメージしながら描いたり好きな色を使って塗つたりする姿が見られる。自分なりの表現を自由に楽しんでほしいと考えている。
○「代わって」「貸して」「あとで」など遊びを通して自分の気持ちを表現しようとする姿が増えている。自分の思いや言葉を表現しながら遊びを楽しんでほしいと考えている。



公開園【タンポポこども園】

ヨン・ベン・ビーズ・姫・
ストロー・スランプ
ーブ・セロ・ハーテープ・
画面テープ・花紙・新開紙・段
ボール

- ・「先生見て」と見せる。
- ・満足感が味わえるようにする。
- ・色や形を言ひながら貼付けをし、
名前を知るきっかけを作る。
- ・「アーバンマン描く」「これは虹」と好きなものをイメージして
描く。
- ・「音に付けるやつ作る」「手に付けるやつ作る」と作りたいものを考
えながらアイスに塗る。
- ・「つづらうやつよだい」と足りないものがあることを伝える。
- ・好きな色や形のピースやスト
ローを細かに塗る。
- ・反対から抜けてしまうがもう一度やり直す。
- ・「きれいやろ」「かわいい」「こん
だけもした」と自分が作っている
ものを見て感じたことを言葉に
する。
- ・「見て」と保育者に伝え、くつってもらう。
- ・「ハンバーガー作る」や「イチゴ
のアイスがいい」と作りたいもの
を伝える。
- ・難いところは手伝つもら
いながら自分で作る。
- ・完成した物を身に着けたり、食
べたりして満足する。

【園庭】

- ・外遊びの準備や入室時¹の着替えがしやすいように帽子や鞄、お着
物、セイフティセットを用意してお。
- ・取りやすいところに玩具や自然物を置いておく。
- ・水を汲みどんどんぐりを洗う。
- ・どんなぐりを雨どいやベットボ
トルの雨水に転がす。
- ・転がらないものを手で押したり、追加で転がしが何度も試す。
- ・転がるものが大好きな子を見守り、「なん
かがやさしいかな」と一緒に考
え、自然物に興味を持てる。

【ままごと・自然物・物づくり】

- ・自分の使いたい道具を取りに行
き瓶詰め始める。
- ・砂を水やカッブに入れてカ
ップケーキを作り、手で丸めたり、カレーをア
ーフに見立て保育者や友だちに見せ、「食べべ」と持つてくる。
- ・砂とどんぐりを混ぜてご飯づ
くり声掛けをする。
- ・「どんぐりさんお風呂?」「沈んだ
んぐりもあるん?」と遊びが広が
る。
- ・砂掛けをする。
- ・転がるものを手で押したり、追加で転がしが何度も試す。
- ・転がるものが大好きな子を見守り、「なん
かがやさしいかな」と一緒に考
え、自然物に興味を持つて、
自然物に興味を感じさせる。

・「先生見てやハーベ
ガー作る」「テープ貼つて
など簡単な言葉のやりと
りなりに伝えようとして
いるが。

・「ネットレス作ろうか」「プレスレ
ット作るか」と子どもが作りた
いものの名称を伝える。

・「欲しいもの」を教えてくれてあり
がとっと伝え、言葉で言えたこ
とを褒める。

・集中して取り組む姿を見守り、必
要に応じて手伝う。

・「透けが難しいな」「通せたね」
と感想する。

・抜けてもやり直そうとする姿を
認め、頑張つて通したのにね、もし
う一度やってみよう」と悔い思
いを代弁しておしらけを引き出す。

・「かわいいのができただね」おし
らけと共に完成品を喜ぶ。

・長いのが作れたね」「全部レシック
にしたの」「など長短や色にも興味
があるが、自分でも手で食べられ
るもの」誰と作ったの」など共感し
り、考えたりできるような声掛け
をする。

・「今日のご飯はなんですか」「オム
ライスクください」など簡単な言葉
のやりとりが楽しめるようす
る。

・熱いからフリーして「おいし
いからもんどり食べたな」など見
立てるやつぱりが発展していくよ
うな声掛けをする。

・「どんぐりさんお風呂?」「沈んだ
んぐりもあるん?」と遊びが広が
る。

・砂掛けをする。

・転がるものを手で押したり、
転がるが大好きな子を見守り、「なん
かがやさしいかな」と一緒に考
え、自然物に興味を持つて、
自然物に興味を感じさせる。

・何度か繰り返し楽しんでい
るが。

・友だちや保育者と「どん
ぐりご飯」でみようなど言葉
のやりとりを楽しんでい
るが。

・砂を皿に垂せて、どん
ぐりややつぱりを振り付
け、ケーキにするなど見
立てる楽しみであるが。

・並べたアイスやケーキを
並べ、「いらっしゃいませ」
など店員とお客様にな
りきつ楽しさしているが、
自然物に興味を持つて、
自然物に興味を感じさせる。

・何度か繰り返し楽しんでい
るが。

| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|---|--|---|---|
| 【保育室】 ・遊びを選択し遊びやすいように子どもが取扱いやすい高さや場所に配置する。 | ・自分の好きな遊びを見つけて遊び合う。友だちを説いて遊ぶ。 ・遊びが見つけられず保育者に聞かわってもらい遊び始めよう。 | ・思いや要求を丁寧に受け止め、安心して遊びられるようにする。 ・遊びが見つけられない子には、様子を見ながら興味を持ちそうな遊びに誘う。 | ・保育者や友だちと「何が食べたいですか?」や「何がお気に入りですか?」などの気を付けて下さりなど簡単な言葉のやりとりを楽しんでいるか。 |
| 【保育室】 ・再現や見立てになりきつて遊べるように道具を用意する。 | ・お皿や容器や友だちから食べさせられることで、食べる真似をする。 ・電子レンジに入れて温めれる。 ・電子レンジに並んで温めざるなど説明する。 ・「何にしますか?」「〇〇ください」と「ちょっと待ってください」といふ言葉をしたりする。 | ・保育者も共に遊びを楽しむ中で、子どもの行動や思ひを言語化し言葉のやりとりを楽しめるようにする。 ・自分の思いや相手の気持ちに気付けるよう開わり、言葉を付け加えたり代弁したりする。 ・子どもが丸めた赤い折り紙を見ていれば「そうないマトコロ」と言つたり、顔類をアートと冷ますなりき目を、見立てたりなりきつたりして楽しむよう、イメージやすい声掛けをする。 | ・保育者や友だちと「何が食べたいですか?」や「何がお気に入りですか?」など簡単な言葉のやりとりを楽しんでいるか。 |

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日）9時30分～10時45分
【対象児】 3歳児 ゆり組（男児9名 女児9名）
【担任名】 竹内渚 東智美（支援担当）川村富子（支援担当）

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>
○身の周りのことができるようになり、自分で行おうとする。服、ズボンの前後が逆になつてしまふ子もいる。声をかけると気づいて直そうとする。
○食事面ではお箸を使用し、持ち方や座る姿勢について言葉がけをすると意識しようとする姿が見られる。その日の食事に応じてスプーン、フォークを使用している子もいる。
○排泄は自分のタイミングで行ける子もいるが、声をかけることが必要な子もいる。また、オムツの子はタイミングを見てトイレに駆けている。

＜発達の特徴＞

○身の回りのことできなないこと、分からないことがあれば自ら自分の言葉で伝えようとする姿も見られるようになってきた。また、友だちが困っていることに気づき教えようとする姿、手助けする姿も見られる。
○遊びの中で友だとの関わりが増えてきて、一緒にイメージを共有しながらごっこ遊びを楽しんだり、お店さんごっこでは自分の思いを伝え合いながらやりとりしたりする。まだ思ひが伝わりづらいこともあります、トラブルになってしまふこともあります。
○製作に興味を持ち始め、自分の作りたいものを保育者に伝え様々な素材を選び、はさみやのりを使って難しいところは保育者に援助してもらしながら、作ることを楽しんでいる。

＜遊びの特徴＞

○おままごと、お店さんごっこ
おままごとでは赤ちゃんの人の形のお世話をしている中で「ベビーカーがほしい」と必要なものを伝えてくれた。用意すると「おさんぽいく」と友だちと出かけたり、「わたからしづかにしてな」とやりとりをしながらお母さんになりきつて遊んでいます。
お店さんでは、帽子をかぶるエプロンをして「いらっしゃいませー」と、メニュー表を渡し「なににしますか?」「～もありますよ」と自分が経験したお店屋さんのように話をし、お客様も「へください」「おかねです」とやりとりをして楽しんでいる。
砂遊びでは型抜きを使っている。ふるいを使いお皿に食べ物を作ったり、ご飯の上に漿っぽや枝などを見つけて盛付けをしていた。お店さんごっこ
○ハッピーセット屋さんごっこ
使っていたお店さんの帽子がボロボロだったので新しい帽子を作ることになり、どんな帽子にするか聞いてみると「ハッピーセットがいい」という声があつた。その声を聞いた周りの子たちも「ボテトもいるやん」「ナゲットはつくらんの？」と

言い始めた。作りたいものがどんどん出てきて製作が始まり、保育者と一緒にマクドナルドの帽子、ボデト作りなどを楽しんでいる。



○車ごっこ（Bブロック、レゴブロック）

Bブロックでは車を作る子が多く見られたので道路を用意した。友だちと考えながら道路を整へていき、保育者も援助する中で友だちと一緒に道路を用意した。友だちと考えながら頭は、個々で好きなものを作ることがよく見られていたが、最近は気の合う友だちと一緒に一つのものを作ることが見られる。

○製作

自分で始めた落ち葉やどんぐりなどを画用紙に貼つたりして自然物を取り入れて作ることを楽しんでいる。また、まつぼっくりをタイヤにしたら車が作れるんじゃない?となり、そこから車の上にどんどんぐりを貼り額を描き、人に見立てる姿も見られる。イーマージに近づき完成するとできることを嬉しそうに伝え、満足感を得ていた。

○サークット

運動会でサークットをして身体を動かす経験をしたことで、身体を動かす楽しさを感じている。園庭でもサークットを楽しむ子が増えてきた。年中・年長児のサークットを見て、よい刺激になりありこがれて離しいものも楽しんでいる。

＜ねらい＞

○自分の思いを言葉にして伝えたり、友だちとやりとりしたりすることを楽しむ。
○自分なりにイメージしたものを作ることを楽しむ。
○身体を動かすことを楽しむ。

＜内容＞

○自分が経験したことと思い出してなりきり、友だちとのやりとりを楽しむ。
○イメージしたものを使え、援助してもらひながら様々な素材を使って製作あそびをする。
○くぐる、跳ぶ、またぐ、登る、揺るなど、運動あそびをする。

＜内容選択の理由＞

○ごっこ遊びではイメージしてなりきったり、普段の生活中で経験したことを取り入れてなりきることで、友だちとやりとりの楽しさを知つてほしい。
○イメージしたものを使え、援助してもらひながら完成させ、できた喜び、達成感を味わつてほしい。
○作ったものをごっこ遊びに取り入れることで他児が興味・関心を持ちイメージを共有したり、作ってみたいと製作にも意欲を持ち遊びが広がつてほしい。
○保育者にたずねたり、自分たちで遊びの力を工夫し、全身で運動する楽しさを味わつてほしい。
また鍛錬や繩跳びなどにも繋がつてほしい。
○指先を動かすことにも繋がつてほしい。





公開園【タンポポこども園】

| 信号機 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|---------|---|--|--|
| ・信号機 | •好きな遊びを見つけて遊び始める。 | ○製作遊び •製作がしやすいように机の上に製作ボックスを用意しておく。 •はさみ •画用紙 •両面テープ •花紙 | て走らせて遊ぶ。 •子どものイメージして作りたいものを保育者に伝え、魔材や画用紙など素材を探し、ハンバーガーやボボ茶など一緒に作っていく。 |
| ・サーチケット | ○ままごと ・子どもたちが選んで遊びやすいように決まり場所に置いておく。 ・帽子 ・ベビーカー ・赤ちゃんの人形など ・作った食べ物をまことに取り入れられるようにプロックを置く机をままごとの傍に置く。 | •作ったものを友だちと見せ合い、作り方を聞くなど見立していく。 •ブロックで食べ物を見立てられるように一緒に考えたり、想像が膨らむような言葉がけをする。 •赤ちゃんの人形に食べさせたり、家の内で複かせお世話をする。 •友だち同士でお父さん、お母さん役を決めたり「ぱぶー」と赤ちゃんになりきりっこ遊びをする。 | •危険のないように傍で見守り、できたことを共に喜んだり援助しながらやってみようとする。 •やつてみたくとも怖い時は保育者に援助を求め、助けてもらひながらする。 •子どもから援助を求められたら、手助けする。 |
| ・サーチケット | ○お店屋さんごっこ ・帽子をかぶり定員になります「いらっしゃいませー」「ボテありますよー」とお店屋さんが始まる。「ボテトください」とお客さんも加わりやりとりを楽しむ。 | •お店屋さん、お客様さんになりきり、「～ありますか?」「～はどうですか?」などやりとりを楽しめているか。 | •くぐる、跨ぐなど楽しみながらい、友だちや年上の方がしている姿を見てやつてみようとする。 |
| ・ゲームBOX | ○お店屋さんごっこ ・やりとりする中で子どもも同士が関わりを持って遊びが広がるようにはじまりますか？」など遊びを楽しめているか。 | •お店屋さん、お客様に「ごはんできたり、ふるいを使い「サラサラ～さわってみて」と友だち同士で見せ合って楽しむ。 | •見守り、できたことを共に喜んだり援助しながらやってみようとする。 |
| ・鉄棒 | ○車ごっこ ・ブロックを出して道路を作ったり、走らせて遊びやすいように場所を開けておく。道路を繋げるためにはハンテープを用意しておく。 | •友だちと自分の思いを伝え合いながら一緒に道路を繋げたりしているか。 | •友だちの遊びに興味を示してやつてみたり「どうしてつくったん?」など聞いたりやりとりして遊んでいるか。 |

| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
|--------------------------------|--|--|---|
| ・子どもたちが選んで遊びやすいように決まり場所に置いておく。 | ○ままごと ・机に料理の乗ったお皿を友だちと並べたり、ワミーでも食べ物を作り見立て遊びをする。 ・赤ちゃんの人形など ・作った食べ物をまことに取り入れられるようにプロックを置く机をままごとの傍に置く。 | •作ったものを友だちと見せ合い、作り方を聞くなど見立していく。 •ブロックで食べ物を見立てられるように一緒に考えたり、想像が膨らむような言葉がけをする。 •赤ちゃんの人形に食べさせたり、家の内で複かせお世話をする。 •友だち同士でお父さん、お母さん役を決めたり「ぱぶー」と赤ちゃんになりきりっこ遊びをする。 | •作ったものを友だちと一緒に見せ合い、作り方を聞くなじやりとりをして制作を進めていく。 |
| ・道路 ・トンネル | ○車ごっこ ・車ごっこでは、新幹線や救急車、消防車など作る。 ・友だちと「ぼくは～つた」「ここは～で…」と言葉で伝え合い一緒に走らせ楽しむ。 ・駐車場を作ったり、道路を友だちと一緒にしながらセロハンテープで繋げ | •子どもたちで道路が繋げられるように声をかけたり、セロハンテープを用意して傍に置いて子どもたちで一緒にする姿を見守り、必要であれば援助する。 | •子どもたちの遊びに興味を示してやつてみたり「どうしてつくったん?」など聞いたりやりとりして遊んでいるか。 |

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日） 9時30分～10時45分
【対象児】 4歳児 ふじ組（男児10名 女児8名）
【担任名】 大隅直子 白川愛芽 小谷絵耶佳（支援担当）
【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

○基本的な生活習慣は、身に付いてきており、見通しを持つて活動ができるようになつてきている。

○振り返りの時間を設けることで、自分の思いを表現したり保育者や友だちの話を聞くとした振りする姿が見られるようになつてきている。

○遊びに夢中になり、使ったものの片付けが難しい場面もある。

○給食では、食事もマナーを守れるよう意識して食べるようになつてきている。季節の食材にも興味を持ち、味を伝え合う姿も見られる。

＜発達の特徴＞

○運動会の経験を通して、友だちと相談したり協力したりし、一緒に同じ目的に向かって活動する楽しさや喜びを感じている。
○友だちと思いを伝え合いながら遊べるようにになつてきた半面、思いが強く自分の意見を買き通そうとし、友だちとぶつかることも増えてきた。必要に応じて仲立ちし、お互いの気持ちを話せる時間を持つることで、相手の思いを考え、納得できることも増えてきている。

○製作遊びでは、考えたり試したり友だちに尋ねたりし、イメージしたものを形にする力が付いてきている。作つただけで満足していたが、最近は作つたものを使って遊びごとも増えている。

＜遊びの特徴＞

○街作り ラキューやブロック、折り紙など使つた製作で、動物や乗り物がたくさん出来上がつってきた。

作った物を街に見立てた空き箱の中に置いたり、木を作り昆虫を置いたりするようになつた。
その中で、「車を走らせたいな」「道があつたらいいんぢやう？」と相談し始めた。大きい紙を用意すると、「道路図」「川もあるな」「ガソリンスタンドも描こうかな」と描き始めた。そこに、空き箱でできた街を組み合わせたり、道路に作った車を走らせたりする。「街をもっと広げたい」「他にも何がいるかな」とこれからしたいことを語り合つっている。

○楽器作り

『山の音楽家』の歌をきっかけに、「バイオリン作つてみたい」と空き箱などを使つて作り始めた。「ぼくは、ピアノ作ろうかな」と鍵盤を作りピアノができるが、他の子どもフルート、太鼓を作り始めている。太鼓ができると、運動会で披露した和太鼓のリズムを叩いて打つことを楽しんでいる。

○変身・おしゃれ遊び

「かわいい服が欲しい」と夏の終わりからカラー ポリ袋を使って衣装作りが始まる。なりたいキャラクターが明確になり、「髪の毛が長いから頭に付けてみたい」とスラントapeで三つ編みを作りテープの芯に貼りつけ、カチューシャ型の付け髪を作り楽しんでいる。その中でマイク道具やアクセサリー（イヤリングや指輪）を作り鏡の前でおしゃれをする姿もある。

新聞紙でモンスター ボールを作つたことがきっかけで、「ポケモンがおらん

から、作りたい」と考え、自分がポケモンになれるよう、様々な素材を使ってつけ耳やしつぽを作り、なりきることを楽しんでいる。種類も増えてきて、これからどうなっていくのか子どもたち自身も楽しみにしている。

○ままごと

赤ちゃんの人形のお世話を楽しみ、おんぶ紐を使っておんぶしたり、名前を付けてお世話をしたりしている。製作作った食べ物を使ってテーブルに並べて友だちに振る舞つたり、調理器具を使って調理したりすることでも楽しんでいる。遊びに夢中になると、散らかっていても気付けてそのままにしてしまうこともある。

○サーキット

園庭に常に運動遊具が置いてあることやさらに入運動会でサーキットをしたこと、ゲームボックスや平均台、鉄棒などを組み合わせ、身体を使つて遊びを楽しんでいる。年長児がして聞いた動きををしてみたいという思いが強く、「こうしてみたい」と組み合わせ方を一緒に考えながら、サーキット遊びを行つている。難しいと思っていたことも、保育者の手を借りたりしながらやつてみようし、できると嬉しい表情が見られる。保育者と一緒に友だちと少しずつ変化を付けることで、達成感も味わえているようである。

○砂遊び、まきごと遊び

夏に園庭の砂を変えたことで、穴掘りや山作り、食べ物の型はめが固めやすくなり砂場での遊びが広がり遊び込むことが増え始めた。友だちの姿に影響を受け、誘い合つたり思いを伝え合つたりしながら、友だちと一緒に作り上げることも増えてきた。その中で、思いがうまく伝わらなかつたり思うようになつかり、苛立ちがみられたり、もめてしまうこともあります。その時は、双方の意見を再度聞き合つるようにし、どうしたらうまくいくのか自分たちで考えられるようによくしている。

＜ねらい＞

○自分なりに作りたいものをイメージして、工夫をしたり考えたりして作つたり、友だちと一緒に作つたりすることを楽しむ。

○試したり遊びしたりしたことを自分の言葉で伝えたり、友だちの思いを聞いたりする。

＜内容＞

○友だちと意見を出し合い、教えたり教わつたりしながら、作りたいものを一緒に考え、様々な素材を使って、製作あそびを楽しむ。

○振り返り（ふじふじタイム）タイムをする。

＜内容選択の理由＞

○物作りを通して、自分なりに考えて試行錯誤したり友だちと相談したりする中で、相手の気持ちはに気付いたり、自分の思いを相手に伝えたりできることになり、自分たちで遊び進めていくことが楽しいと感じて欲しいと考えている。

○振り返りをすることで、自分の思いを表現したり相手の思いを聞いたり、また遊びが繋がつていくように友だちと考えたり試したりしたことを共有し、次の遊びに期待を持って遊び込んでいる。



令和6年度 乳幼児教育ビジョン推進事業 報告書



公開園【タンポポこども園】

| 評価の観点 | 保育者の援助と配慮 | 予想される子どもの姿 | 環境構成 |
|---|--|---|----------------------------------|
| ○ステージ発表 ・段ボールで出来たステージをおしゃれコーナーに近い所に設置する。 | ・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。 ・お客様になり、発表する友だちを見て、「かわいい」「〇〇踊って」とリクエストする。 | ・前日振り返りを参考にして、話してみたり提案したりする。 ・互いの顔を見ながら話ができるように、いすを輪に並べる。 | ・好きな遊び場所から、したい遊びを見つけて遊ぶ。 |
| ○片付け ・遊びの頃を見ながら話を元に戻したり、作った物を飾ったり並べる。 | ・遊びでいた物を主に使った物を元に戻したり、作った物を飾ったり並べる。 | ○振り返り (ふじふじタイム) ・遊びの中で、作った物を見せ、工夫したことや難しかったことなど発表する。 ・友だちの前で発表する。 ・友だちの作った物に興味をもち、のぞき込んだり「どうやって作ったの？」と尋ねたりする。 | ・段ボールで出来たステージをおしゃれコーナーに近い所に設置する。 |

| 評価の観点 | 保育者の援助と配慮 | 予想される子どもの姿 | 環境構成 |
|--|---|---|--|
| ○制作遊び ・前日に作っていた物の続きを一緒に考えたり提案したりする。 | ・前日の振り返りを参考にして、話してみたり提案したりする。 ・友だちの意見を参考に、工夫したり試してみたりしているか。 ・保育者にはばかり頼るのでなく、友だちに相談し教えて作っているか。 | ・見本となる本を見ながら、必要なものを準備し保育者に手伝つてもらいながら作る。 ・鏡を見ながら作ったカチューシャやキャラクターのつけ耳を付けて、なりたいものになりきる。 | ・イメージした物が作れるよう、廃材や教材を設置する。 ・はさみ、ごみ入れを用意し、個々で使えるようにする。 |
| ○制作遊び ・前日に作り始めた物の続きを一緒に考えたり提案したりする。 | ・友だちとのやり取りを大切にし、「〇〇ちゃんがつくってたらいいながら作る。」など伝え、必要に応じて助言したり手伝つたりする。 | ・友だちが作っている物に興味を持ち、教えてもらったり真似をしたりしながら楽しんで作る。 | ・段ボールで出来たステージをおしゃれコーナーを作つておる。 |

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日）9時30分～10時45分
【対象児】 5歳児 さくら組（男児9名 女児9名）
【担任名】 林知里 梨子木理恵子

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

- お道具箱に物を詰め込んだりして、整理や物の管理が苦手な様子が見られる子どもも�数名いるが、基本的生活習慣が身に付き、身の回りのことは自分たちで行うことができる。
- 「〇時になつたら、お片付けしようね」など見通しを持つ行動できるよう声掛けをすることで、自分で考えて行動できるようになってきてているが、できにくい子どももいる。
- さくら組おうち会議（振り返り）や食事の際の姿勢保持が難しい子どももいるが、声を掛けると姿勢を保とうとしている。

<発達の特徴>
○興味のある遊びを通して友だち同士で遊びを進め、発展させて楽しむために自分の思いを伝えたり相談したり、協力しながら共通のイメージを持ち遊びを進めいく姿が見られる。

○いろいろな道具や廃材を使ってイマージュや目的にあつたものを工夫しながら作り上げようとする姿がある。

<遊びの特徴>

○製作遊び

一人ひとりが目的を持ち、作りたいものを作ることで思いを表現する姿が見られ、あちこちでそれぞれの製作遊びが展開している。その中で、イメージに合った素材を選んだり、試行錯誤したりしながら作り上げる姿が見られる。連携活動で幼稚園児や1年生と自然物を使って製作する活動で作ったトンボ、けん玉、○×ゲーム、ケーキなどを保育室に飾っておくと、次の日から「作りたい！」と興味を持ちはじめ、友だちの作品を見ながら作る姿や「どうやって作ったの？」と作った友達に作り方を開き、作るようになつた。そこから、遊びが発展し男の子たちを中心に、難しさのレベルを考えたり、チケット制のルールを考えたり、けん玉で繰り返し遊びしていく中、「玉が入りやすい毛糸入りににくい毛糸がある」と、気づきながらグループで遊びを楽しんでいる。

他にも、好きなキャラクターや自分の興味のある遊びに必要な素材を考え、その特性を生かしながら自分の目的のものを作り上げていく楽しさを感じながら遊んでいる。

○おうちごっこ

春からおままごとコーナーの中で、少人数で役割を決めながらおうちごっこを楽しむ姿があつた。遊びの中でも必要なものを自分たちで考え、作るうとする姿があり、製作遊びとつながるきっかけとなつた。友だちと話しあいながら作っていく中で、「赤ちゃんのおもちゃってどんななん？」という声があり、乳児クラスへ赤ちゃんのおもちゃを見に行ったり保育者に質問したりし、作りたいものを作り上げていく経験をしている。「赤ちゃんが熱出たで病院行ってくる」と病院ごっこに発展し必要な薬

や体温計などの小道具や目印になる看板を作ったり、お化粧道具を作つてくにつれ作つたお化粧道具を収納するドレッサーづくりに発展し、子ども同士でお化粧をしあつたり、自分たちで想像豊かにおうちごっこ遊びを広げている。



○きのこたうん（まちづくりごっこ）

友だちが作った作品に興味を持ち、「自分も作つてみたい」という気持ちは芽生え作り方を教えてもらつたり、一緒に作り上げていく姿が見られる。きのこの好きな男の子を中心ラキューで作ったきのこや人を机の上に並べて友だちとやり取りしながら遊んでいる姿が見られるようになり、大きな画用紙を用意すると、道路を描きはじめ「こお家な」駐車場があつたらしいんちやうん」と伝え合いながら協力して遊びを進めたり、興味を持った子どもどんどん加わり、廃材や秋の自然物を使ってお家や車などをつくる姿が広がる。そこから、「車あるからガソリンスタンドいるやろ」「ここ寂しいから森にしよ」「木とか落ち葉とか？」ときのこたうんに何が必要か子ども同士で話し合い、役割分担をしながらそれにはいった素材を友だちと一緒に探したり一緒に作つたりしている。

<くねらい>

○イメージしたものを作りながら遊びを進める楽しさを感じる。
○友だちとを考えを伝え合つたり、協力したりしながら一緒に遊ぶ。

<内容>

○いろいろな道具や廃材を工夫して使い、自然物を取り入れながら、自分のイメージを形にしたり友だちと一緒に作つたりする。

<内容選択の理由>

○イメージしたものを作つたり、ごっこ遊びや見立て遊びをしながら役になりきつて遊ぶ。
○ラキューいろいろな素材を使って考えたり工夫しながら作品を作り友だちと協力して共通の世界を作る。



○おうちごっこでは、言葉や動作を使って役になりきり友だちとやり取りを楽しむ姿がある。
おうちごっこに足りないものがあることに気づくと自分たちでイメージを共有しながら作ろうとする姿が見られるようになり、その姿を大切にしていきたいと思い選択した。

○きのこたうんでは、それぞれが作りたいラキューを作つて飾つていたが、興味を持った作品を通して作り方を教え合つたり、協力したりしながらラキュー以外の素材も使って一つの世界を作り上げたりする姿が見られるようになり、その姿を大切にしていきたいと思い選択した。



公開園【タンポポこども園】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
| ・生き物や画用紙、自然物など、素材に合わせた一キなど作りたいものに合います。一人ひとりの必要に応じて作りたいもののイメージが広がるようになります。 | ○製作遊び ・けん玉やピタゴラスイッチ、ケーラーなど作れる工具などを用意しておき、子どもが自由に使えるように十分に用意しておく。 ・友だちが作った製作物を見て興味を持ち、「僕も作りたい！」と自分も作ってみようとしたり、「どうやって作るん？」と作った友だちに作り方を教えてもらったりしながら作る。 ・イメージしたものが形になるよう、思いを共有しながら作り上げていく。 | ・作りたいものに合いそうな廃材や自然物を選び、作りたいものが作れるよう援助をする。 ・子ども同士でやり取りを通して見られるときには見守る。 ・「〇〇ちゃん・くんと一緒に考えながら作ったの!!」「〇〇ちゃんなど友だちと一緒に作った姿を認める言葉をかける。 ・作ったものを使って友達と一緒に遊んでいく中で、気づいたことや困ったことがあると友だちや保育者に伝え共有しようとする。 | して場所の確保をする。 ・いろいろな素材や素材に合わせた道具、子どもたちのイメージが膨らむような素材を用意しておき、作れるようになります。 |
| ・おうちごっこ | ○おうちごっこ ・おうちごっこを楽しむために、赤ちゃんとのお世話グッズやお医者さんの服、トイレなど必要な物を作るため友だちと一緒に素材を選んだり、考え方や思いを伝え合ったりしながら一緒に作る。自分で話し合って「わたくしお母さんです！」と役割を決め、その後になりきり、経験したことや作った食材、小道具を取り入れながら遊びこむ。 | ・子どもたちのやりたいことが実現できるよう、必要に応じて思いやイメージをじっくりと聞いて援助を行う。 ・子どもたちの世界觀を擴大するのに友だちと一緒に素材を選んだり、考え方や思いを伝え合ったりしながら一緒に作る。自分で話し合って「わたくしお母さんです！」と役割を決め、同じ目線に立って展開を楽しむようにする。 | ・子どもが必要とした時に合わせて、「こはどういうの？」と作りたいものが作れるようになります。 |
| ・遊具 | ○きのこたうん ・作ったお家や車などを置いたり絵で表現しながら自分のイメージが広げられるようにテラスを開設するなど | ・子ども同士のやり取りを見守りながら、必要に応じて | ・自分が言葉で伝えたり、友だちに思いや考えを伝えたりする。 ・自分なりの言葉で思いや考えを伝えようとしているか。 ・子どもたちの感覚のことや、気になつたところや思ひょうどを相手に伝えたり、それに対する反応。 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 環境構成 | 予想される子どもの姿 | 保育者の援助と配慮 | 評価の観点 |
| ・生き物や画用紙、自然物など、素材に合わせた一キなど作りたいものに合います。一人ひとりの必要に応じて作りたいもののイメージが広がるようになります。 | ○製作遊び ・けん玉やピタゴラスイッチ、ケーラーなど作れる工具などを用意しておき、子どもが自由に使えるように十分に用意しておく。 ・友だちが作った製作物を見て興味を持ち、「僕も作りたい！」と自分も作ってみようとしたり、「どうやって作るん？」と作った友だちに作り方を教えてもらったりしながら作る。 ・イメージしたものが形になるよう、思いを共有しながら作り上げていく。 | ・作りたいものに合いそうな廃材や自然物を選び、作りたいものが作れるよう援助をする。 ・子ども同士でやり取りを通して見られるときには見守る。 ・「〇〇ちゃん・くんと一緒に考えながら作ったの!!」「〇〇ちゃんなど友だちと一緒に作った姿を認める言葉をかける。 ・作ったものを使って友達と一緒に遊んでいく中で、気づいたことや困ったことがあると友だちや保育者に伝え共有しようとする。 | して場所の確保をする。 ・作りたいものに合うようになります。 |
| ・遊具 | ○おうちごっこ ・おうちごっこを楽しむために、赤ちゃんとのお世話グッズやお医者さんの服、トイレなど必要な物を作るため友だちと一緒に素材を選んだり、考え方や思いを伝え合ったりしながら一緒に作る。自分で話し合って「わたくしお母さんです！」と役割を決め、その後になりきり、経験したことや作った食材、小道具を取り入れながら遊びこむ。 | ・子どもたちのやりたいことが実現できるよう、必要に応じて思いやイメージをじっくりと聞いて援助を行う。 ・子どもたちの世界觀を擴大するのに友だちと一緒に素材を選んだり、考え方や思いを伝え合ったりしながら一緒に作る。自分で話し合って「わたくしお母さんです！」と役割を決め、同じ目線に立って展開を楽しむようにする。 | ・子どもが必要とした時に合わせて、「こはどういうの？」と作りたいことがあります。 |
| ・遊具 | ○きのこたうん ・作ったお家や車などを置いたり絵で表現しながら自分のイメージが広げられるようにテラスを開設するなど | ・子ども同士のやり取りを見守りながら、必要に応じて | ・自分なりの言葉で思いや考えを伝えようとしているか。 ・子どもたちの感覚のことや、気になつたところや思ひょうどを相手に伝えたり、それに対する反応。 |

令和6年度 乳幼児教育ビジョン推進事業 報 告 書

舞鶴市健康・こども部 こどもまんなか室

乳幼児教育推進課 乳幼児教育センター

〒624-0854 京都府舞鶴市円満寺100番地の4

TEL 0773-68-9510